

NEWS RELEASE

2009年11月25日

関西電力株式会社殿の太陽光発電所向けパワーコンディショナを大量受注

株式会社ダイヘン(取締役社長:田尻哲也)は、関西電力株式会社殿(以下、関西電力)が大阪府堺市臨海部に建設を予定しているメガソーラー発電所「堺第7-3区太陽光発電所(仮称)」に関して、当該発電所に設置する太陽光発電設備のうちパワーコンディショナ(※1)を関西電力より受注いたしました。受注したのは、250キロワット・パワーコンディショナ40台およびパワーコンディショナ監視制御システム1式で、発電出力10メガワット相当の日本最大規模の設備となります。

これらの製品は2010年から2011年にかけて順次納入を行なう予定です。

(※1)太陽電池で発電した電気(直流)を一般に使用できる電気(交流)に変換する装置

「堺第7-3区太陽光発電所(仮称)」は、大阪府堺市臨海部におけるメガソーラー発電計画のひとつであり、堺第7-3区産業廃棄物埋立処分場に建設を予定している、発電出力が日本最大規模となる約10メガワットの発電所です。

地球温暖化による様々な影響により、低炭素社会実現への要請が高まる中、そのニーズに応えるため、当社は2005年6月に、環境分野に的を絞った「分散電源システム事業部」を設立しました。それ以降、当事業部を中心に分散電源機器や環境配慮製品の開発、拡販に注力しております。

その中のひとつが太陽光発電用パワーコンディショナですが、今回の受注は、メガソーラークラスにおいて当社ブランドで納入する初めてのケースとなります。

今後も太陽光発電用パワーコンディショナをはじめ、エネルギー消費量の低減に役立つ高効率のトランスフォーマー変圧器など、環境配慮製品の開発及び拡販に努め、環境関連機器分野の事業拡大によって低炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上